

令和6年5月22日

交通事故概況

令和6年4月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（4月末計上数（確定数））

1 令和6年4月末の交通事故発生状況

区分\内容	4月中		4月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	599	5	2,979	-6
死者数（人）	11	7	23	-1
傷者数（人）	684	-21	3,579	25

[過去10年、4月中4月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
4月中死者数	12	17	14	7	3	11	8	8	10	4	9	8	11
4月末死者数	42	43	43	30	36	30	34	32	27	24	34	29	23
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別（4月中）

順位	1		3	4	5
都道府県名	愛知	東京	千葉	北海道	神奈川
死者数	13		12	11	7

都道府県別（4月末）

順位	1	2		4	5	12
都道府県名	愛知	東京	千葉	兵庫	神奈川	北海道
死者数	48	47		36	32	23

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 4月中の死亡事故（死者11人）

- 事故類型別：人対車両が6人(54.5%)、車両単独が3人(27.3%)
- 道路別：道道が4人(36.4%)、国道、市町村道が各々2人(18.2%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、市街地直線が各々4人(36.4%)
- 発生時間別：18～20時が3人(27.3%)、14～16時が2人(18.2%)
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：高齢運転者が3人(27.3%)、50歳代運転者が2人(18.2%)
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：最高速度、前方不注意が各々2人(18.2%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が9人(81.8%)

(2) 4月末の死亡事故（死者23人）

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が11人47.8%（うち前方不注意が3人27.3%、最高速度が2人18.2%）
 - ・ 正面衝突が5人21.7%（うち前方不注意、過労運転によるものが各々2人40.0%）
 - ・ 車両単独が5人21.7%（うち前方不注意が2人40.0%）
- 道路別：
 - ・ 道道が11人47.8%（うち人対車両が5人45.5%、正面衝突が4人36.4%）
 - ・ 国道が4人17.4%（うち車両単独が2人50.0%）
 - ・ 市町村道が4人17.4%（うち人対車両が4人100.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 非市街地直線が9人39.1%（うち前方不注意が3人33.3%、最高速度、過労運転によるものが各々2人22.2%）
 - ・ 市街地交差点が8人34.8%（うち最高速度が2人25.0%）
- 発生時間別：
 - ・ 10～12時が5人21.7%（うち正面衝突が3人60.0%、車両単独2人40.0%）
 - ・ 12～14時が3人13.0%（うち車両単独が2人66.7%）
 - ・ 18～20時が3人13.0%（うち人対車両が2人66.7%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：
 - ・ 高齢運転者による死者が9人39.1%（うち車両単独が4人44.4%、正面衝突が3人33.3%）
 - ・ 50歳代運転者による死者が4人17.4%（うち正面衝突が2人50.0%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：
 - ・ 前方不注意が8人34.8%（うち人対車両が3人37.5%、正面衝突、車両単独が各々2人25.0%）
 - ・ 最高速度が4人17.4%（うち人対車両が2人50.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が17人73.9%（うち人対車両が8人47.1%、車両単独5人29.4%）
 - ・ 50歳代の死者が3人13.0%（うち人対車両が2人66.7%）
- シートベルト非着用者：

自動車（二輪を除く）乗車中の死者10人中、シートベルト非着用者は5人(50.0%)であり、そのうち3人(60.0%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

4月中の死者数は、札幌方面が4人(36.4%)、旭川方面が3人(27.3%)、函館方面が2人(18.2%)、釧路方面、北見方面が各々1人(9.1%)となっている。

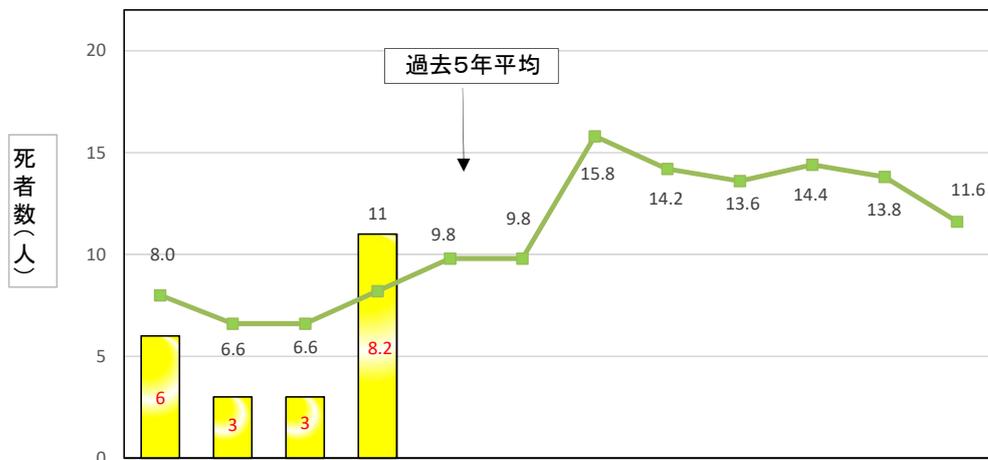
4月末の死者数は、札幌方面が12人(52.2%)、旭川方面が5人(21.7%)、北見方面が3人(13.0%)、函館方面が2人(8.7%)、釧路方面が1人(4.3%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
4月中	全道	599	5	11	7	684	-21	4月末	全道	2,979	-6	23	-1	3,579	25
	札幌方面	450	3	4	2	521	-3		札幌方面	2,262	14	12	-2	2,756	93
	函館方面	38	-3	2	2	39	-10		函館方面	154	-17	2	2	167	-38
	旭川方面	50	27	3	3	58	29		旭川方面	243	14	5	1	303	30
	釧路方面	51	-17	1		56	-28		釧路方面	260	5	1	-2	287	-16
	北見方面	10	-5	1		10	-9		北見方面	60	-22	3		66	-44

(4) 月別発生状況の推移

4月中の死者数は11人で過去5年平均8.2人を上回っている。

4月末の死者数は23人で過去5年平均29.4人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3	11									23
年間累計	6	9	12	23									
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

4月中は愛知県、東京都が各々13人で最も多く、次いで千葉県が12人、北海道が11人となっている。

4月末は愛知県が48人で最も多く次いで、東京都と千葉県が47人で、次いで兵庫県が36人、神奈川県が32人で北海道は23人で12位となっている。

区分\都道府県	愛知	東京	千葉	北海道	神奈川	大阪	福岡	青森	山口	兵庫	全国
4月中死者数	13	13	12	11	7	7	7	7	7	6	196
ワースト順位	1	1	3	4	5	5	5	5	5	10	-
前年比	0	2	3	7	1	-10	-2	6	6	-3	12
増減率(%)	0.0	18.2	33.3	175.0	16.7	-58.8	-22.2	600.0	600.0	-33.3	6.5

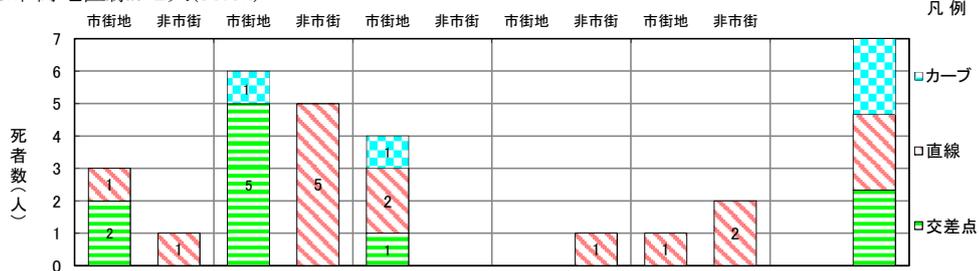
区分\都道府県	愛知	東京	千葉	兵庫	神奈川	大阪	福岡	広島	茨城	静岡	全国	北海道
4月末死者数	48	47	47	36	32	32	30	27	27	24	778	23
ワースト順位	1	2	2	4	5	5	7	8	8	10	-	12
前年比	0	10	8	3	-3	-25	-6	4	-3	9	-19	-1
増減率(%)	0.0	27.0	20.5	9.1	-8.6	-43.9	-16.7	17.4	-10.0	60.0	-2.4	-4.2

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が11人(47.8%)、次いで国道、市町村道が各々4人(17.4%)となっている。

- ・ 道道は市街地交差点、非市街地直線が各々5人(45.5%)
- ・ 国道は市街地交差点が2人(50.0%)
- ・ 市町村道は市街地直線が2人(50.0%)

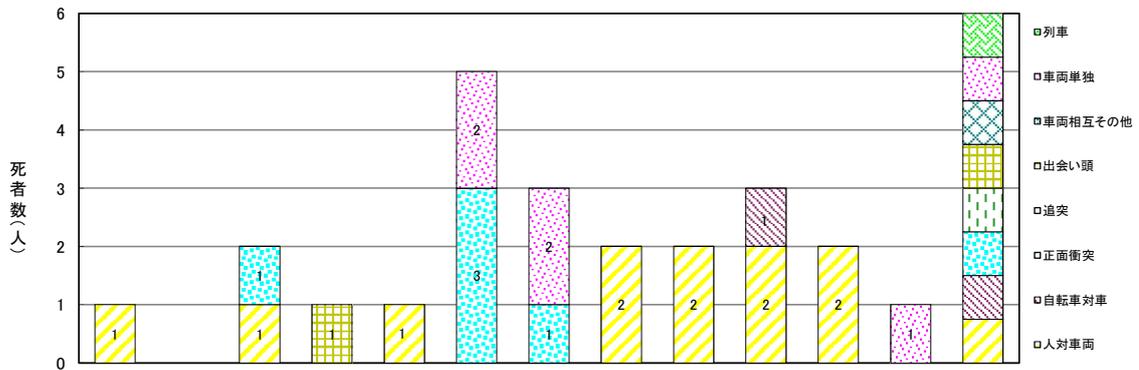


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	4	11	4	1	3	23
構成率(%)	17.4	47.8	17.4	4.3	13.0	100.0
過去5年構成率	38.6	24.3	27.9	2.9	6.4	100.0

(2) 時間別

10~12時が5人(21.7%)、12~14時、18~20時が各々3人(13.0%)となっている。

- ・ 10~12時は正面衝突が3人(60.0%)、車両単独が2人(40.0%)
- ・ 12~14時は車両単独が2人(66.7%)
- ・ 18~20時は人対車両が2人(66.7%)

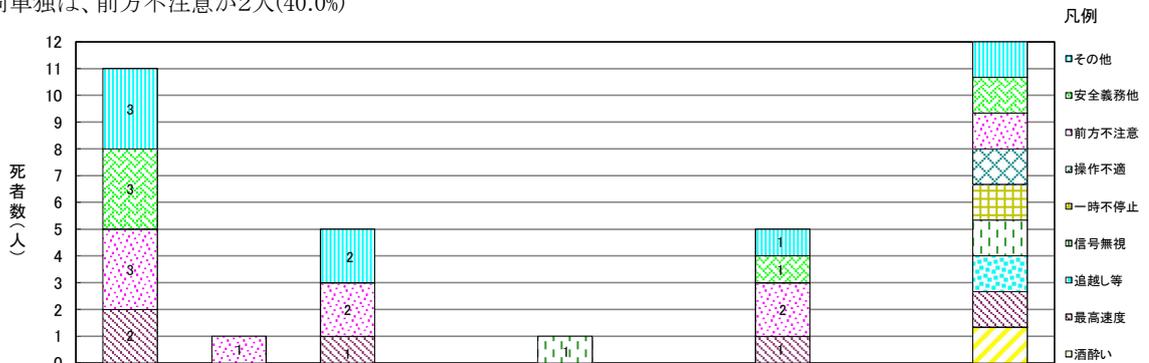


区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数	1	1	2	1	1	5	3	2	2	3	2	1	23
構成率(%)	4.3	4.3	8.7	4.3	4.3	21.7	13.0	8.7	8.7	13.0	8.7	4.3	100.0
過去5年構成率	4.3	1.4	2.9	6.4	6.4	14.3	15.7	17.1	9.3	11.4	6.4	4.3	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が11人(47.8%)、正面衝突、車両単独が各々5人(21.7%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が3人(27.3%)、最高速度が2人(18.2%)
- ・ 正面衝突は、過労運転(その他に含まれる)、前方不注意が各々2人(40.0%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が2人(40.0%)



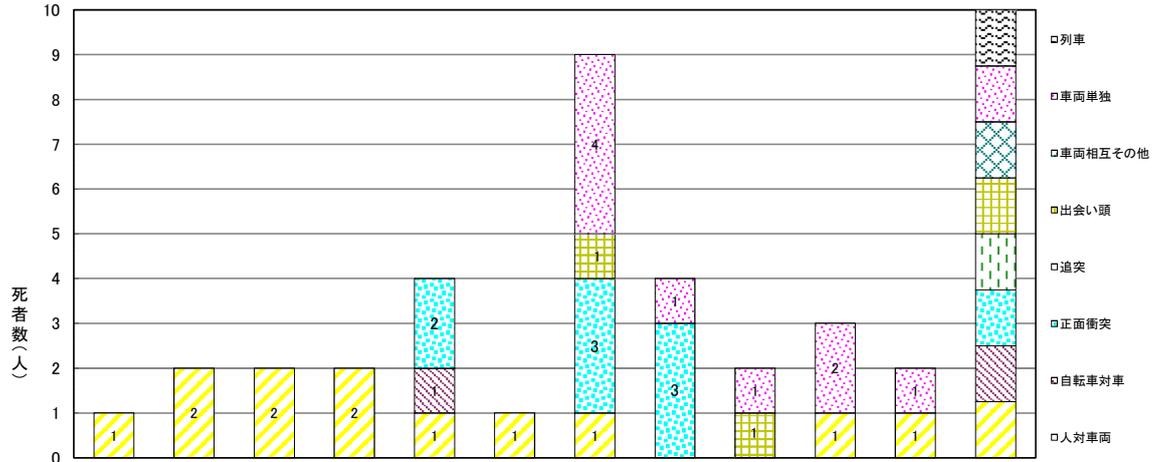
区分\事故類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	11	1	5	0	1	5	0	23	
構成率(%)	47.8	4.3	21.7	0.0	4.3	21.7	0.0	100.0	
過去5年構成率	32.1	2.9	22.1	0.7	12.1	26.4	0.7	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別 (第1当原付以上)

高齢運転者が9人(39.1%)、50歳代運転手が4人(17.4%)となっている。

- ・高齢運転者は、車両単独が4人(44.4%)、正面衝突が3人(33.3%)
- ・50歳代運転者は、正面衝突が2人(50.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	1	2	2	2	4	1	9	4	2	3	2	23
構成率(%)	4.3	8.7	8.7	8.7	17.4	4.3	39.1	17.4	8.7	13.0	8.7	100.0
過去5年構成率	4.3	3.6	8.6	20.7	14.3	7.1	37.1	10.0	7.1	20.0	4.3	100.0

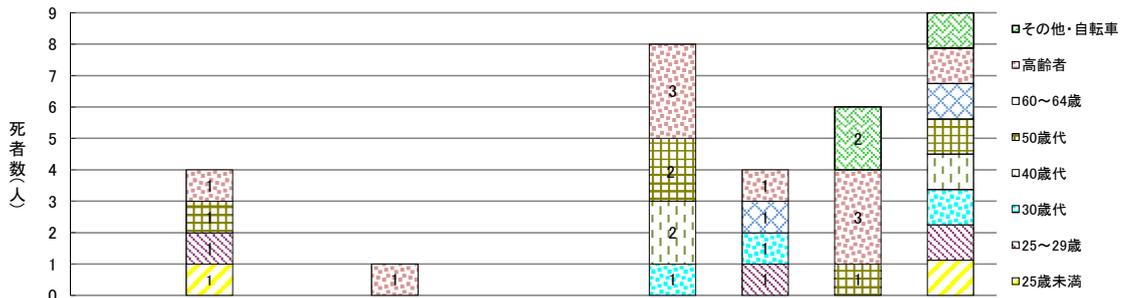
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別 (第1当原付以上)

前方不注意によるものが8人(34.8%)、次いで最高速度が4人(17.4%)となっている。

- ・前方不注意は、高齢運転者による死者が3人(37.5%)、40歳代、50歳代の運転者による死者が各々2人(25.0%)
- ・最高速度は、若年者、25歳~29歳、50歳代、高齢の運転者による死者が各々1人(25.0%)

凡例



区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数		4		1			8	4	6	23
構成率(%)		17.4		4.3			34.8	17.4	26.1	100.0
過去5年構成率		0.7	7.9	7.1	5.7	2.9	14.3	33.6	27.9	100.0

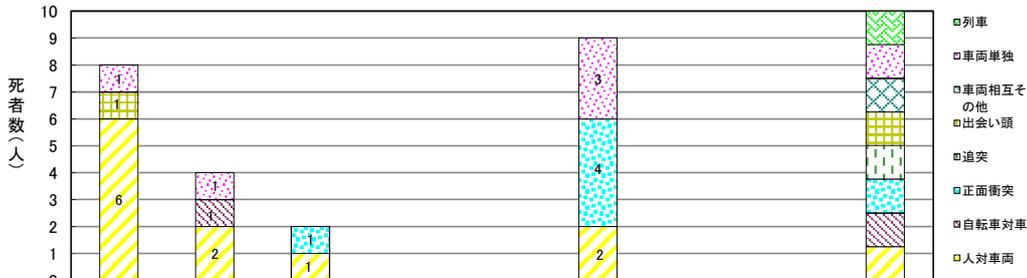
注 「その他」に1当自転車、歩行者を含を含む。

(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が9人(39.1%)、次いで市街地交差点が8人(34.8%)となっている。

- ・非市街地直線は、正面衝突が4人(44.4%)、車両単独が3人(33.3%)
- ・市街地交差点は、人対車両が6人(75.0%)

凡例



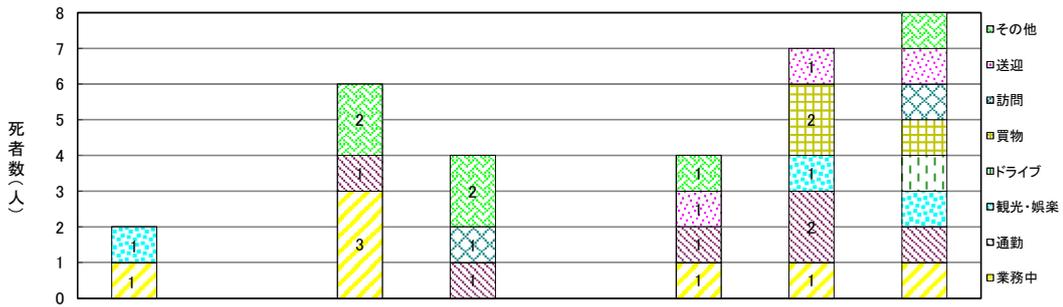
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	8	4	2	14		9		9	23
構成率(%)	34.8	17.4	8.7	60.9		39.1		39.1	100.0
過去5年構成率	30.7	17.9	3.6	52.1	7.1	29.3	11.4	47.9	100.0

(7) 曜日別

土曜日が7人(30.4%)、次いで火曜日が6人(26.1%)となっている。

- ・土曜日は、通勤、買物が各々2人(28.6%)
- ・火曜日は、業務中が3人(50.0%)

凡例



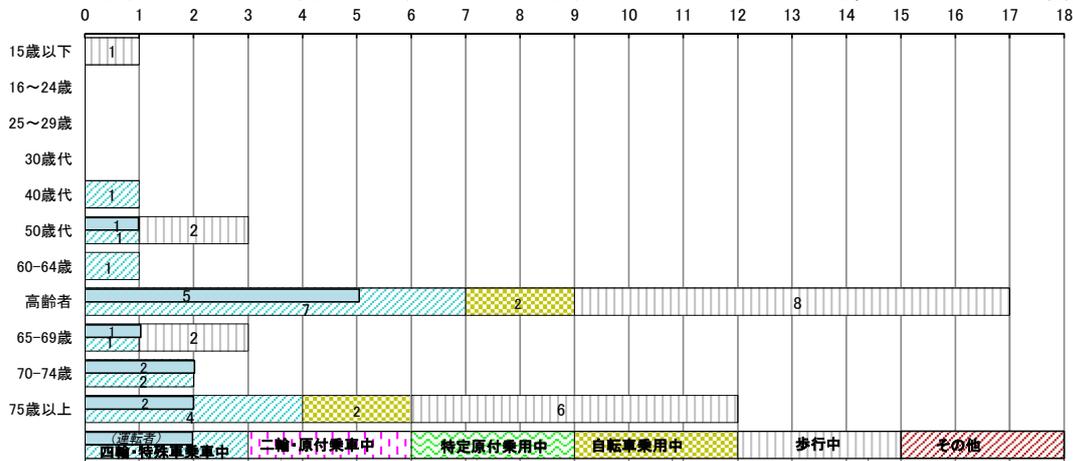
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	2	0	6	4	0	4	7	23
構成率(%)	8.7	0.0	26.1	17.4	0.0	17.4	30.4	100.0
過去5年構成率	12.1	9.3	15.0	12.1	14.3	20.7	16.4	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が17人(73.9%)、次いで50歳代が3人(13.0%)となっている。

歩行中の死者数が11人(47.8%)、次いで四輪乗車中の死者数が10人(43.5%)となっている。

死者数(人)



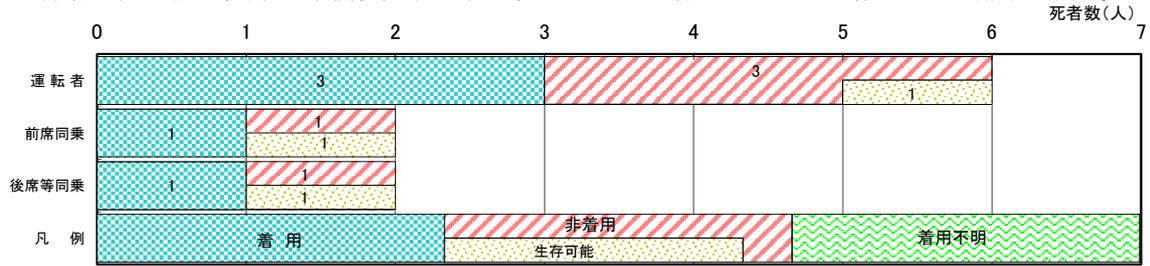
状態別 年齢層別\		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	死者数	0	0	0	0			
16~24歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	2.1
25~29歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4
30歳代	死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	6.4
40歳代	死者数	1	0	0	0	0	0	1	4.3	8.6
50歳代	死者数	1	0	0	0	2	0	3	13.0	12.1
60~64歳	死者数	1	0	0	0	0	0	1	4.3	7.9
高齢者	死者数	7	0	0	2	8	0	17	73.9	58.6
65~69歳	死者数	1	0	0	0	2	0	3	13.0	10.0
70~74歳	死者数	2	0	0	0	0	0	2	8.7	6.4
75歳以上	死者数	4	0	0	2	6	0	12	52.2	42.1
計	死者数	10	0	0	2	11	0	23	100.0	—
	構成率	43.5	0.0	0.0	8.7	47.8	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	58.6	3.6	0.0	4.3	32.1	1.4	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者10人中、シートベルト非着用者は5人(50.0%)となっている。
非着用者の3人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明		
		計	運転者	同乗者		計	運転者	同乗者				
令和6年	10	5	3	1	1	5	3	1	1	1		
構成率(%)	100.0	50.0	60.0	20.0	20.0	50.0	60.0	33.3	20.0	100.0	20.0	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が5人(100.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用				1	1	1	2		2			5
構成率(%)				20.0	20.0	20.0	40.0		40.0			100.0
ヘルト非着用							5	1		4		5
構成率(%)							100.0	20.0		80.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者5人の損傷加害部位をみると座席が2人(40.0%)、フロントガラス、天井が各々1人(20.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
ヘルト着用				1		1			1		2	
構成率(%)				20.0		20.0			20.0		40.0	
ヘルト非着用				1				1	2			1
構成率(%)				20.0				20.0	40.0			20.0
運転者				1				1				1
構成率(%)				20.0				20.0				20.0
同乗者									2			
構成率(%)									40.0			

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。